

海老名災害ボランティアネットワーク

第20回 定期総会



<http://www.edvn-saibora.net>

【 議案書 】

第1号議案	2020年度事業報告	2頁
付属資料	2020年度事業報告付表(経過)	3頁
第2号議案	2020年度会計報告	4頁
	会計監査報告	
第3号議案	2021年度役員選出	5頁
第4号議案	2021年度事業計画(案)	6頁
第5号議案	2021年度予算(案)	7頁
資料:	海老名災害ボラ備品一覧表	8頁

2021年度(第20回)定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面議決方式で開催します。書面議決書(別紙)の提出をお願いします。

●新型コロナウイルス感染症拡大の中で、海老名災ボラ活動の継続に苦闘した1年間

2020年1月以降、日本国内でも新型コロナウイルス感染症が拡大し、さまざまな社会・経済活動と市民生活が大きな影響を受けた。4月7日に政府が7都府県に緊急事態宣言(第1回)を発令し、16日に全国に拡大した。公共施設の休館、イベントの中止、不要不急な「外出自粛」、感染防止対策の実施(手指の消毒、マスク着用、密閉・密集・密接の回避など)が要請された。

海老名災ボラ会員の中では、高齢者や基礎疾患を有する方も少なくないため、感染防止という観点から、集まる場合にはマスク着用の徹底、非接触式体温計による体温測定、手指の消毒、3蜜(密閉・密集・密接)の回避して実施することにした。集まらなくても情報伝達や意見交換ができるような方法(オンライン化など)の充実に努めた。

1. オンラインでの情報伝達・情報共有を推進した

2020年度では、集まらなくとも情報交換・情報共有ができる手段(メーリングリスト、Line、Zoom)の利用を進めた。

①メーリングリストの活用について:メーリングリストを見る会員の増加が課題

海老名災ボラのメーリングリストには会員総数47名中の38名が登録(登録率80%)。個人会員では31名中29名。日常的にはメールを見ない会員もおり、メーリングリストで情報発信しても、情報が共有されないことも起こっている。メーリングリストに登録していない会員やスマホで登録しているので、添付ファイルは読みづらいという声があったので、そうした会員のために、重要な情報については、郵送した(約8名)

②海老名災ボラLineグループの活用について:参加者の拡大が課題

災害時の連絡に役立つように、海老名災ボラLineグループを作成し参加者の拡大を進めてきた。20年秋の段階で、会員総数47名中の21名が海老名災ボラlineグループに参加している。今後、参加者の拡大が課題である。

③Zoomの活用について:Zoomアプリのアカウント登録者の増加とZoom体験者の増加が課題

Zoomアプリをインストールしアカウント登録している会員は約20人(個人会員19名)である。登録者の増加と、Zoom体験者の増加と技能向上、Zoomミーティング主催者として災ボラにZoomを提供できる会員の増加(補助金支給)が課題。

④海老名災ボラのインターネット・ホームページの更新:更新できる会員の複数化と技能向上が課題

ホームページは、災ボラの活動を広く市民に知らせるためにも、会員が災ボラの活動の歴史と現状を知るためにも、重要な手段である。更新が行われることで、多くの人に災ボラ活動の内容を伝えることができる。2018年11月24日以降、ホームページの更新が行われていない(従来、更新を担当していた方が多忙のため)。ホームページに掲載する内容(コンテンツ)を作る人と、それをホームページにアップする担当者を複数化することが課題である。

2. 市民の自然災害への対応能力(自助・共助)を高める活動

①「災害図上訓練(DIG)風水害編」の体験学習会を開催

2020年10月31日の午前と午後に自治会連合会防止部会(戸建て)と災ボラの共催で感染防止対策の体験学習会を開催。

講師:中村敏一、参加者:午前と午後の合計で16名、会場は福祉会館会議室。

②海老名市民への広報活動:「海老名災害ボランティアネットワークだより」の発行:2020年12月1日、第36号。

コロナ感染症拡大の状況で2020年6月1日発行はできなかったが、同年12月1日には発行・自治会回覧。

- 小学生向けの「福祉教室」や「サマースクール」はコロナ禍のために学校から要請がなく、実施できなかった。
- 自治会や各種団体からの防災講演会や減災訓練は、コロナ禍のために要請がなく、実施できなかった。

3. 「海老名市災害救援ボランティアセンター」の設営・運営に関わる活動

大規模な自然災害が発生し、海老名市または周辺地域が大きな被害を被った場合に海老名市からの要請を受けて海老名市社会福祉協議会が中軸となって「海老名市災害救援センター」が設置されることになっている。次の活動を実施。

①海老名市危機管理課・海老名市社会福祉協議会との情報交換・ボラセン運営について検討を進めた

海老名市で防災・減災に関係する3者(海老名市危機管理課、海老名市社協、海老名災ボラ)で、情報交換と相互協力を行っている。この会議で、「コロナ禍で災害ボラセンの運営」について検討を開始した。海老名災ボラとして「コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営について」の学習会を開催した。

②神奈川災ボラが主催する防災・減災に関する講演会にZoomで参(2019年8月)

2020年度に予定されていた「ビックレスキューかながわ」(神奈川県・葉山町)はコロナ禍で中止となった。

神奈川災ボラ主催の防災・減災に関わる講演会などにZoomで参加したが、参加者は少数であった。

- 災害救援ボランティアセンターのスタッフ養成(コーディネーター養成講座)は中止(コロナ感染症拡大の前から)社協から、従来は実施されていたコーディネーター養成講座は見直したいという話があり、2020年度の実施は無かった。

4. 被災地・被災者支援のボランティア活動へ参加は無かった

海老名災ボラは東日本大震災をはじめ、大規模な自然災害が発生した場合、被災地・被災者支援活動を神奈川災ボラとともに実施してきた。2020年7月に熊本県で豪雨災害があった。感染拡大を懸念する声もあり、具体的な被災地・被災者支援活動は行わなかった。

5. その他の活動

①海老名市ボランティア連絡協議会の定例会などに、海老名災ボラの担当者が参加した。

- イオン海老名店で幸せの黄色いレシートキャンペーンを団体が参加して実施することはコロナ禍の中で中止。

(第1号議案)付表

2020年度 事業報告(2/2)付表

2020年4月1日～2021年3月31日

月	日	曜日	内容	会場・備考	参加者
4	7	火	緊急事態宣言が7都府県に発令、イベント等が中止・延期 海老名災ボラの定例会は、当分の間、開催できない状況	海老名市福祉会館は4月～6月まで休館 福祉会館以外の会場でも無理	
			2020年度、海老名災ボラ定期総会を5月30日開催を決定	⇒後日、総会の大幅延期を決定(6月に)	
	28	火	海老名防災関係3者定例会開催(社協など)	福祉会館(社協との協議は利用可能)	2
5	8	金	会計監査を終了。資料持ち回り方式で実施した。	担当者の自宅へ資料を郵送	3
			2020年度定期総会を書面議決方式で開催決定	代表、副代表、会計などの役員	5
			イオン黄色いレシートキャンペーン、団体の活動は中止 ネットワークだより36号発行中止を決定	イオン海老名店 通常は海老名市内の自治会に回覧	
28	木	総会議案書をメールリストで送信した	会員からの意見は無かった		
6	8	月	海老名災ボラ2020年度定期総会資料を発信・郵送		1
	11	木	神奈川災害ボランティアネットワーク総会、書面議決方式	海老名災ボラからは、福田が理事となる	1
	17	水	海老名災ボラ総会・書面議決書を未提出の会員に催促	メール、郵送、電話で(担当:福田)	1
	21	日	書面議決書を締切。個人会員29/30、賛助15/19、団体2/3	会員総数46/52 回収率88.5%	
7	10	金	ボラ連定例会:社協からの団体への助成金減額(25%減)、 熊本県などの豪雨災害発生、神奈川災ボラから情報提供	70,000円×0.75=52,500円	1
	12	日	海老名災ボラ情報No.1を発信:5～6月の活動報告と予定	海老名災ボラメールリスト、郵送	
	21	火	神奈川災ボラ臨時理事会:福田はZoomで参加	神奈川県民サポートセンター	1
8	7	金	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	海老名市福祉会館	2
	9	日	災ボラ情報No.2を発信:7～8月の活動報告と今後の予定	海老名災ボラメールリスト、郵便	1
	25	火	神奈川災ボラ第1回運営委員会、	福田がZoomで参加	1
9	11	金	ボラ連定例会開催	出席者:水本、野本	2
	18	金	災ボラ会員によるlineグループ作成を開始	福田が担当となって開始	
	19	土	2020年度第1回定例会開催:参加、会場13名+line1名	福祉会館第2会議室(2階)	14
	21	月	海老名災ボラ情報No.3発信:第1回定例会の報告	海老名災ボラメールリスト、郵送	
30	水	会計より会費納入者:個人31名、賛助13名、団体3	これまで退会:個人2名、賛助3名		
10	10	土	風水害対策講習会は台風14号の接近のため中止した	台風14号は伊豆諸島方面を通過した	
	11	日	海老名災ボラ情報No.4発信:9月の活動報告と予定	神奈川災ボラ委員会に嶋原義弘を推薦	
	31	土	風水害対策講習会:午前13名、午後14名	講師:中村敏一、災ボラ午前8名、午後8名	27
	31	土	神奈川災ボラ組織強化委員会:Zoomで開催	Zoomで参加:福田	1
11	9	月	海老名防災関係3者定例会:各団体の現状報告	福祉会館、出席:福田、星野	2
	10	火	海老名災ボラ情報No.5発信:活動報告と予定	海老名災ボラメールリスト、郵送	
	14	土	風水害対策講習会:午前のみ、参加者災ボラ会員	講師:中村敏一、司会:星野隆一郎	6
	18	水	海老名災害ボランティアネットワークだより36号、印刷作業	原稿:福田、差し込み印刷:野中、作業参加	5
	24	火	神奈川災ボラ運営委員会:会場とZoomで開催	県民サポートセンターで嶋原、福田	2
12	6	日	神奈川災ボラ主催のZoom講習会(基本編):Zoomで参加	海老名災ボラから参加:福田、小澤、水本	3
	8	火	神奈川災ボラ主催のZoom講習会(基本編):Zoomで参加	海老名災ボラから参加:野中	1
	13	日	神奈川災ボラ主催のZoom講習会(応用編):Zoomで参加	海老名災ボラから参加:福田、石橋	2
	13	日	海老名災ボラ情報No.6発信:11月の活動報告と予定	海老名災ボラメールリスト、郵送	
	14	月	神奈川災ボラ主催の防災講演会:大川小学校の教訓	海老名災ボラから:福田、石橋、三宅、野中	4
	15	火	神奈川災ボラ主催のZoom講習会(応用編):Zoomで参加	海老名災ボラから:野中	1
	19	土	神奈川災ボラ主催:災害時の情報伝達訓練	海老名災ボラから:福田、野中	2
21	月	海老名防災3者定例会:災害ボランティアセンターの運営	会場:福祉会館、出席:福田、星野	2	
1	10	日	海老名災ボラ1月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員14名が参加、	14
	13	水	海老名災ボラ情報No.7発信:12月の活動報告と予定	メールリスト、郵送	
2	6	土	内閣府主催:「防災とボランティアのつどい」Zoomで参加	Zoomで参加:福田	1
	10	水	海老名防災3者定例会、各団体の現状報告	福祉会館、災ボラの出席:福田、星野	2
	14	日	海老名災ボラ2月の定例会、Zoomで開催	Zoomで参加11名	11
	15	月	海老名災ボラ情報No.8発信:2月定例会の報告	メールリスト、郵送	
	16	火	海老名防災3者で、災害ボラセンのレイアウト調査	海老名市文化会館、出席:福田、星野	2
	22	月	海老名市地域防災計画の修正、書面議決で決定	海老名災ボラでの参加:三宅	1
	11	木	神奈川災ボラ、東日本大震災10年、追悼のつどい	海老名災ボラから参加:石橋、福田	2
3	12	金	神奈川災ボラ主催:災害時のオンラインでの情報伝達訓練へ	海老名災ボラから参加:福田	1
	21	日	海老名災ボラ3月定例会、Zoomで開催	Zoomで参加、14名	14
	23	火	神奈川災ボラ第6回運営委員会、Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、石橋、田村和寿	3
	28	日	長野県災害時支援ネットワークとの交流フォーラム	海老名災ボラから:福田	1

(第2号議案)

2020年度 海老名災害ボランティアネットワーク収支決算報告

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

【一般会計】

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減額 (B-A;△減)	備考
1 会費収入	74,000	85,890	11,890	
(個人会員)	50,000	57,890	7,890	2,000×29口(29名) - 手数料(2口)
(賛助会員)	15,000	19,000	4,000	1,000×19口 (15名)
(団体会員)	9,000	9,000	0	3,000×3 (3団体)
2 事業収入	10,000	0	△ 10,000	
3 寄付収入	15,000	27,600	12,600	イオン「ギフトキャンペーン」、ダイエー他
4 助成金	70,000	52,500	△ 17,500	海老名市社会福祉協議会より
5 雑収入	2	2	0	ゆうちょ銀行受取利子
6 前年度繰越金	281,936	281,936	0	
合計	450,938	447,928	△ 3,010	

(支出の部)

科目	予算額(A)		決算額(B)		増減額 (B-A;△減)	備考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	80,000		29,095		△ 50,905	各種講座材料費
2 通信費		5,000		4,928	△ 72	サーバー代、ドメイン料
3 事務費		35,000		34,810	△ 190	郵送費、印刷費、その他事務用品
4 会議費		5,000		900	△ 4,100	Zoomミーティングホスト補助費
5 会費		20,000		13,000	△ 7,000	県災ボラ、海老名ボラ連協議会会費
6 広報費	25,000		5,590		△ 19,410	ネットワークだより印刷代
7 交通費		35,000		3,240	△ 31,760	各事業等参加
8 予備費		245,938		5,874	△ 240,064	非接触体温計
小計	105,000	345,938	34,685	62,752	△ 353,501	
合計		450,938		97,437	△ 353,501	

収入額 447,928 円 - 支出額 97,437 円 = 350,491 円 <2021年度繰越金>

【特別会計】

(収入の部)

科目	決算額	備考
1. 寄付収入	0	
2. 前年度繰越金	23,540	
合計	23,540	

(支出の部)

科目	決算額	備考
活動補助費	0	
合計	0	

収入額 23,540 円 - 支出額 0 円 = 23,540 円 <次年度繰越金>

会計 松井 俊輔

会計 小澤 昌平

— 会計監査報告 —

代表 福田 博 殿

2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の

海老名災害ボランティアネットワーク会計について、監査結果を下記の通り報告します。

2021年 4 月 8 日 関係帳簿、領収書等の監査の結果相違ないことを認めます。

会計監査 野本みどり

会計監査 永山八郎



第3号議案 2021年度役員(案)

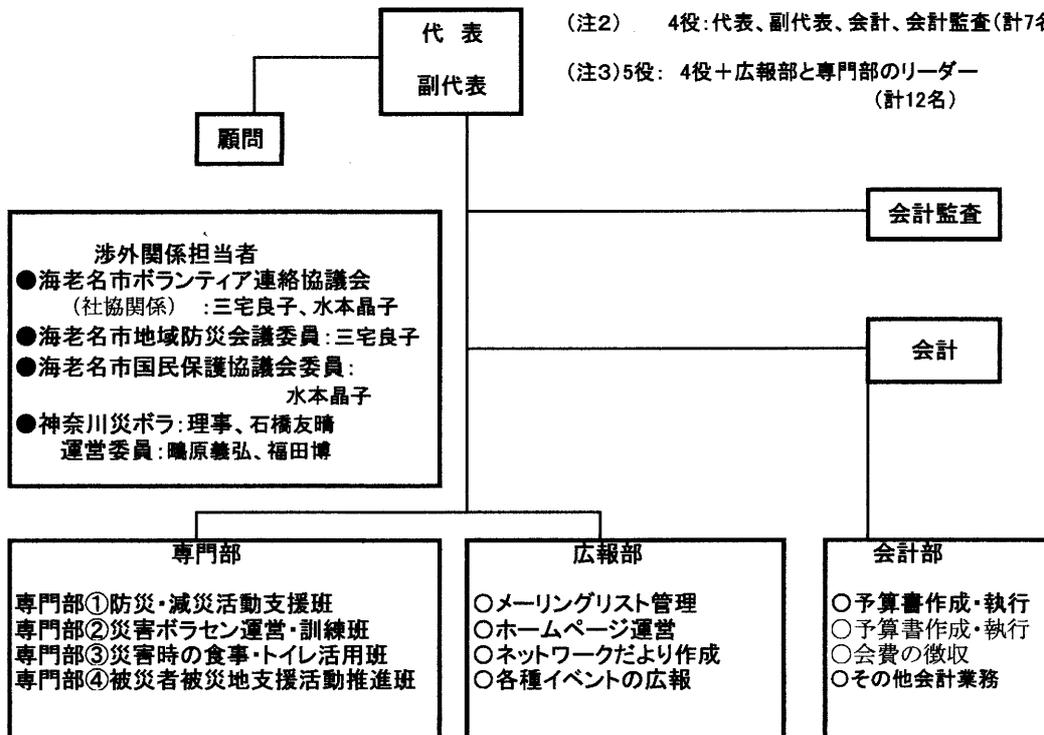
代表	石橋友晴
副代表	星野隆一郎 三宅良子
会計	松井 俊輔 小澤 昌平
事務局	広報部: 鷲見一雄・福田博・野中義彦・館登志子
	専門部①: 中村敏一・山下康秀・小澤昌平
	専門部②: 佐々木茂・吉野達志・黒田美保
	専門部③: 水本晶子・嶋原やわた・山本由美子
	専門部④: 石橋友晴・嶋原義弘・田村和寿
会計監査	永山 八郎 嶋原やわた

(組織図)

(注1) 3役: 代表、副代表、会計(5名)

(注2) 4役: 代表、副代表、会計、会計監査(計7名)

(注3) 5役: 4役+広報部と専門部のリーダー(計12名)



※定例会: 海老名災ボラの運営に関わる会議、毎月開催

※役員会: 代表・副代表の会議、+会計の会議など、必要に応じて開催

※広報部・専門部について: メンバーは定例会等で変更可能で、会議は必要に応じて開催する。

専門部①防災・減災活動支援班: 体験型講座、防災マップ作成講習などを実施する。

専門部②ボランティアセンター及び避難所運営訓練班: ボランティアセンター及び避難所運営訓練を促進する。

専門部③災害時の食事・トイレ活用班: 災害時に備えて水・食料の備蓄・災害食づくり・トイレの活用を推進する。

専門部④被災地支援推進班: 被災地支援活動を活発化するため、会員内外へのPRと参加促進を図る。

(第4号議案)

2021年度 事業計画(案)
(2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 新型コロナウイルス感染症の流行が続いている中での災害ボランティア活動について

- ①国や県・市などから「外出自粛」が求められている状況(緊急事態宣言発令中)では、「人と人の接触」が多くなる活動(会議・講習会・被災者支援など)は自粛する。
- ②国や県・市などから「外出自粛」が緩和されている状況では、「3密」(密閉・密集・密接)を回避するなど、必要な感染防止対策を講じて、災ボラ活動(会議・講習会・被災者支援など)を進める。
- ③「人が直接的に接触しない形で出来る活動」(メールリスト、Zoom、line、電話、郵便など)を活用し、会員相互及び市民との情報共有・交換を積極的に推進し、災ボラ活動の持続的な展開を図る。

2. 市民の自然災害への対応能力(自助・共助)を高める活動を推進する

- ①「体験型減災・対応訓練」を開催し、市民の自助能力の向上を進める。
- ②「災害図上訓練(DIG)」(地震及び風水害)の体験学習会を開催する。
- ③自治会・各種団体主催の自主防災訓練に協力し、自助・共助の前進を図る。
- ④小学生の自然災害への関心と対応力の向上を進める。「福祉教室」、「サマースクール」への協力
- ⑤海老名市民への広報活動の充実を図る。「海老名災ボラだより」(7月1日、12月1日、回覧)
海老名災ボラのホームページを充実する。(より多くの市民に読まれる内容に努める)。

3. 被災地被災者支援のボランティア活動に参加・協力する

- ①大規模な自然災害が全国各地で起きた場合、神奈川災害ボランティアネットワークなどと協力し、被災地・被災者支援活動に参加する。上記の支援活動に参加する海老名災ボラの会員に対して、特別会計より、一定金額の活動補助金を支給し負担軽減を図る。
- ②被災地・被災者支援に関わる募金活動や救援物資の送付活動などに参加・協力する。

4. 海老名市災害救援ボランティアセンターの設置運営に参加・協力する

- ①「災害救援ボランティアセンター」の設置運営訓練に参加・協力する(海老名市社協に協力)。
- ②「コーディネーター養成講座」に参加・協力する(海老名市社協に協力)。
- ③神奈川県や海老名市が主催する防災訓練に参加・協力する(「ビックレスキューかながわ」など)。

5. 行政・社協や他団体と連携・協力して防災・減災活動を推進する

- ①海老名市や海老名市社協と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ②「海老名市ボランティア連絡協議会」の活動に参加・協力する。
- ③自治会(自主防災組織)や各種団体と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ④海老名市外の団体(神奈川県内や県央地域)と連携・協力して防災・減災活動を進める。

6. 海老名災ボラの会員相互の情報共有、スキルアップ、会員の拡大を進める

- ①災ボラ会員間の情報共有と様々な人々との交流を進める。そのため、メールリスト、line、Zoom、ホームページなどの活用を図る。
- ②様々な機会を利用して、災ボラ会員のスキルアップを図る。(防災講演会・体験型訓練へ参加)
- ③市民向けの体験型講座や各種事業に、災ボラ会員も参加し、市民と一緒にスキルアップを図る。
- ④被災地被災者支援活動に参加し、そこでの活動経験から学ぶ。
- ⑤「災害弱者」(高齢者・障害者・外国人、幼児など)との交流を促進する。
- ⑥海老名災ボラの会員の拡大を図る。

(第5号議案)

2021年度 海老名災害ボランティアネットワーク予算(案) 2021年4月1日～22年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

科目	2021年度予算(A)	前年度予算(B)	増減額 (A-B:△減)	備考
1 会費収入	82,000	74,000	8,000	
(個人会員)	58,000	50,000	8,000	2,000× 29 口 (29人)
(賛助会員)	15,000	15,000	0	1,000× 15 口 (15人)
(団体会員)	9,000	9,000	0	3,000× 3 口 (3団体)
2 事業収入	10,000	10,000	0	福祉教室他
3 寄付収入	15,000	15,000	0	イオン「ギフトキャンペーン」
4 助成金	70,000	70,000	0	
(海老名市社協より)	70,000	70,000	0	
5 雑収入	2	2	0	受取利子
6 前年度繰越金	350,491	281,936	68,555	
合計	527,493	450,938	76,555	

(支出の部)

科目	2021年度予算(A)		前年度予算(B)		増減額 (A-B△減)	備考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	60,000		80,000		△ 20,000	各種講座材料費、マニュアル整備
2 通信費		5,000		5,000	0	サーバー代、ドメイン料
3 事務費		50,000		35,000	15,000	郵送費、コピー代、他事務用品
4 会議費		30,000		5,000	25,000	会場費、Zoom ミーティングホスト補助費
5 会費		20,000		20,000	0	県災ボラ、海老名社協、他
6 広報費	25,000		25,000		0	ネットワークだより印刷代
7 交通費		20,000		35,000	△ 15,000	市外研修会、各事業等参加
8 特別会計へ移す		270,000				
9 予備費		47,993		245,938	△ 197,945	
小計	85,000	442,993	105,000	345,938	77,055	
合計		527,993		450,938	77,055	

【特別会計】 大規模な災害が起こり、神奈川県や海老名市が被災地になった場合や、他の地域での大規模な災害が起こった場合などでは、海老名災ボラ独自の人・物資に関わる資金が必要になる。そうした事態に備えて、特別会計で資金を蓄える。

(収入の部)

科目	決算額	備考
1. 寄付収入	0	
2. 前年度繰越金	23,540	
3. 一般会計より	270,000	
合計	293,540	

(支出の部)

科目	決算額	備考
活動補助費	0	
合計	0	

資料 海老名災害ボランティアネットワーク 備品一覧表 2021年3月末日現在

No		数量	単位	保管場所	
1	特定小電力トランシーバー	7	台	文化会館備蓄倉庫	EDVN購入
2	ポリバケツ	4	台	"	EDVN購入
3	ブルーシート	5	個	"	"
4	寝袋	80	枚	"	海老名市より
5	白ビニールゼッケン	20	個	"	海老名市より
6	白ビニール腕章	18	着	"	海老名市より
7	メッシュオレンジゼッケン	75	枚	"	海老名市より
8	メッシュオレンジゼッケン	10	着	"	EDVN購入
9	のぼり旗	5	着	"	EDVN購入
10	プラスチックボックス	2	本	"	震災事業より
11	延長コードリール	1	個	"	"
12	延長コード	3	個	"	"
13	アスパックシート	62	個	"	海老名市より
14	折りたたみリヤカー	1	基	"	H20年度海老名市より
15	三方幕(2間×3間)	2	枚	"	H20年度海老名市より
16	ハンドマイク(軽量&防水)	2	基	"	H20年度海老名市より
17	災害時車用マグネットシート	9	式	"	H20年度海老名市より
18	テント(3mx6m)	2	基	"	H21・22年度海老名市より
19	同上四方幕	2	枚	"	H21・22年度海老名市より
20	特定小電力トランシーバー	4	式	"	寄 贈(H23)
21	ヘルメット	17	式	"	H23年度海老名市より
22	プラスチックボックス(バルックコンテナBL-2)	16	個	"	EDVN購入(H22・23・25)
23	発電機	1	台	"	H24年度海老名市より
24	バルーン投光器付発電機	1	台	"	H25年度海老名市より
25	穴開けパンチ	4	台	"	2018年度EDVN購入
26	カセットボンベ式卓上コンロ	2	台	"	2018年度EDVN購入
27	大鍋	2	個	"	2019年度EDVN購入
28	アルミケトル(やかん)	1	個	"	2020年度EDVN購入
29	クーラーバック(ソフトタイプ)	2	個	"	2020年度EDVN購入
30	電動ポット5リットル	2	個	"	2019-20年度EDVN購入
31	懐中電灯(ランタン型)	1	本	"	2018年度EDVN購入
32	非接触型体温計	1	本	"	2020年度EDVN購入
33					